

第22回

2012年4月7日～10月21日

# 自然観察インストラクター養成講座

自然を伝えよう！  
身近な人から未来の子ども達へ

先着順受付！



《自然体験活動リーダー養成登録事業》

【主催】



身近な自然を大切に

社団法人大阪自然環境保全協会

〒530-0041

大阪市北区天神橋1-9-13 M仏天神橋202号室

TEL: 06-6242-8720 / FAX: 06-6881-8103

URL: <http://www.nature.or.jp>

【後援】

大阪府・大阪府教育委員会

大阪市・大阪市教育委員会

# 『自然観察インストラクター』ってどんな人？

あなたは『自然観察インストラクター』と聞いてどんな人をイメージしますか？  
植物の名前をたくさん知っている人？ いろいろな鳥の習性について説明できる人？  
たしかに自然についての様々な知識は持っているほうがいいでしょう。  
でもそれだけが大事なことでしょうか。

私たちの考える『自然観察インストラクター』とは「自然の感動を伝える人」です。  
ただ何気なく歩いている普段の道も、よく観ると生き物の不思議な営みでいっぱい。  
それを見つけてすごいなと感動できる、それがインストラクターの第一歩です。

そして、その感動を自分一人の中にとどめておくのではなく、他の人と共に分かち合う、  
そのことでその感動は大きな輪となり広がっていくことでしょう。その輪が、「身近な  
自然の大切さ」を実感させ、それを守ろうという力になることを私たちは信じています。

『自然観察インストラクター』とは、そんな広がりを生み出すためのリーダーとして  
活躍していく人です。

## 《修了生の声》

遠くの山や行楽地に行かなくとも、身近に自然があふれていること、その自然についてまだまだ知らないことがたくさんありました。知ることで味わう感動、知らないことを知っていく喜び、童心にかえって自然を楽しむ喜び、またそれに共感する仲間ができました。是非インスト講座を受講して、この感動を味わっていただき、周りの人にも広めてほしいと思います。

19期 30代 女性

動物や植物に詳しくなりたいと思い、受講しました。

受講して、植物の名前や特徴を教わるというよりも、「図鑑に載っていないことを、自分たちで気付けるようになること」に主眼を置いていることがわかりました。

この講座をきっかけにして、自分なりの発見をしていきたいと思っています。

20期 20代 女性

「目から鱗」とはこのことかと思うほど新鮮な自然への目の向け方を教えられ、感動しました。インストラクターなんて何をするのかと、初めはとても難しく考えていましたが、自然の見方、読み解き方の手ほどきを優しく、楽しく学べるころなのだということがわかりました。自然というキーワードでつながる仲間も出来、楽しく受講を終えることが出来ました。

14期 50代 男性



## 《講師》

- |        |   |
|--------|---|
| 岡 秀郎   | (社)大阪自然環境保全協会事務局長                             |
| 菅井 啓之  | 京都ノートルダム女子大学教授                                |
| 新田 章伸  | NPO法人 里山倶楽部 里山環境教育オフィス 自然体験活動トレーナー            |
| 田淵 武夫  | 富田林の自然を守る会代表・(社)大阪自然環境保全協会理事                  |
| 長尾 文雄  | 大阪女学院大学 講師                                    |
| 佐藤 治雄  | 大阪府立大学名誉教授(植物生態学)                             |
| 松下 宏幸  | 応急手当普及員・大和川自然観察会代表                            |
| 布谷 知夫  | 三重県立博物館館長                                     |
| 石井 実   | 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授                          |
| 高島 耕一郎 | (社)大阪自然環境保全協会理事・吹田自然観察会                       |
| 松尾 博之  | NPO法人自然体験活動推進協議会理事・大阪CONE連絡会代表・<br>NPO法人NAC理事 |

地域観察会連絡会 他

## 《講座内容と日程》

\* 講座は3部構成で、基礎編は講義と実習、応用編は参加型プログラムが中心です。

実践編では受講生自身で実際に公開観察会を企画し、開催します。

\* 平日の室内講座は、水曜日（一部木曜日）のPM6：45～8：45です。

会場は、環境情報プラザ(森ノ宮駅より徒歩5分：裏面に案内図)等を予定しています。

(宿泊・野外講座等の会場・時間などの詳細については受講決定後お知らせします。)

### 《基礎編》

※日程・講師・会場などの都合により変更する場合があります。

回	月・日・曜	テーマ	講師	会場
1	4月7日 (土)	オリエンテーション	岡 秀郎	いきいきエッジングセンター
	4月～9月	現場へ出よう、観察会参加体験(2～3日間)		
2	4月15日 (日)	自然観察入門	菅井啓之	箕面公園
3	4月19日 (木)	自然の見方・観察会入門	菅井啓之	環境情報プラザ
4	4月21日 (土)	宿泊研修① 野外で楽しもう	新田章伸 他	信太山青少年
	～22日 (日)			野外活動センター
5	5月12日 (土)	里山を歩こう	田淵武夫	富田林奥の谷
6	5月20日 (日)	初夏の自然を楽しもう 体験学習入門	21期修了生	大阪城公園
			長尾文雄	環境情報プラザ
7	5月23日 (水)	生態学入門①	佐藤治雄	環境情報プラザ
8	5月27日 (日)	生態学入門②	佐藤治雄	奈良公園

### 《応用編》

回	月・日・曜	テーマ	講師	会場
9	6月3日 (日)	フィールドを歩こう	講座スタッフ	新檜尾公園
10	6月16日 (土)	野外における安全・救急法	松下宏幸 他	環境情報プラザ
11	7月1日 (日)	自然保護と観察会、観察とテーマ	布谷知夫	千里中央公園他
12	7月7日 (土)	宿泊研修② ミニ観察会のシミュレーション	講座スタッフ	寝屋川市野外
	～8日 (日)			活動センター
13	7月11日 (水)	観察会の企画と運営	高畠耕一郎	環境情報プラザ

### 《実践編》

回	月・日・曜	テーマ	会場等
14	7月18日 (水)	はじめよう自分たちの観察会	講座スタッフ / 環境情報プラザ
15	7月22日 (日)	現地下見 ①	千里中央公園 / 新檜尾公園
16	7月29日 (日)	現地下見 ②	千里中央公園 / 新檜尾公園
17	8月1日 (水)	人と自然のかかわり ～里山と昆虫～	石井 実 / 環境情報プラザ
18	8月4日 (土)	CONE自然体験活動の理念・班別会議①	松尾博之 / 環境情報プラザ
19	8月19日 (日)	環境を考える ・班別会議②	講座スタッフ / 環境情報プラザ
20	9月2日 (日)	現地下見 ③	千里中央公園 / 新檜尾公園
21	9月17日 (祝)	シミュレーション【A班実施、B班参加】	千里中央公園
22	9月23日 (日)	シミュレーション【B班実施、A班参加】	新檜尾公園
23	9月26日 (水)	班別会議 ③	環境情報プラザ
24	10月8日 (祝)	公開観察会 【A班実施】	千里中央公園 (豊中市)
25	10月14日 (日)	公開観察会 【B班実施】	新檜尾公園 (堺市)
26	10月21日 (日)	講座のまとめ・修了式	環境情報プラザ

## 《この講座を修了すると . . . 》

この講座を修了された方は、(社)大阪自然環境保全協会に自然観察インストラクターとして登録されます。また、当協会が主催・後援する自然観察会や調査活動にリーダー・スタッフとして参加できます。さらに、修了生が自主的にはじめた地域観察会グループ(主に基礎編で紹介した府下各地)で、講座修了生や他のメンバーと一緒に活動することができます。

なお、自然体験活動推進協議会(CONE)の自然体験活動リーダーの道が開けます。

## 《参加資格》

18歳以上で次の条件を満たされる方

- ①身近な自然を守るために何かやりたいと考えていること。
- ②原則としてすべてのプログラムに参加できること。

## 《参加費用》

保全協会会員 25,000円

一般 29,000円

教材費、保険料を含みます。

ただし、宿泊研修時の宿泊費・食費等(2回分1万円程度)が別途必要です。



## 《定員》

25人 (定員を超えた場合、先着順受付)

## 《申込方法》

ハガキ・E-mailに氏名(フリガナ)、性別、生年月日、住所、電話番号を記入し、下記へお申し込みください。※

お申し込み頂いた方には、おって受講案内をお送りします。

## 《申し込み・問い合わせ》

〒530-0041

大阪市北区天神橋1-9-13 ハム天神橋202号室

(社)大阪自然環境保全協会

自然観察インストラクター養成講座係

TEL:06-6242-8720 FAX:06-6881-8103

E-mail:inst@nature.or.jp

## 【室内講座会場】



## 社団法人 大阪自然環境保全協会

身近な自然を愛し、これを守り育てたいと願う市民がボランティアで活動している自然保護団体です。大阪南港に野鳥公園をつくるなどの運動に取り組んだ市民が中心となって1976年に設立され、現在会員は約900名、大阪を中心に近畿全域で活動を行っています。主な自然保護活動として、市民による里山管理・保全運動、市民環境調査、自然環境を守るための提言を行い、また、啓発活動として、自然やその保全について学ぶ講座・学習会、各地の観察会・「どんぐりまつり」などの行事を開催しています。

※お寄せいただいた個人情報の取り扱いにつきましては当協会ホームページ掲載の「プライバシーポリシー」<http://www.nature.or.jp/shoko/rijikai/PrivacyPolicy.htm>をご確認下さい。